

第97号 2023年 10月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

在宅医療の充実

事務部長 森田秀一郎

今年の日本のスポーツ界は、3月の野球(WBC)から始まり、ワールドカップでの女子サッカーの活躍、男子バスケットボールのオリンピック出場権獲得、そして現在もラグビーとバレーの試合が行われ、毎日盛り上がっています。それぞれの試合を観ていますとやはり感じるのは体格差です。しかし日本はその体格差をチームワークでカバーし、選手がどの試合も楽しんでいて素晴らしい結果になっています。これは選手の努力はもちろんですが、楽しく試合ができる環境にしている指揮官とスタッフの力もかなり大きいと思います。さて、当法人は平成29年4月に訪問看護ステーションマリア(以下訪看マリア)と小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家(以下マリアの家)を開設し、また、神山復生病院から在宅への訪問診療・往診を行い、在宅医療を開始しました。その後6年が経過した今年5月には、在宅療養支援マリア診療所(以下マリア診療所)を開設しました。現在は、マリア診療所を中心に訪看マリア、マリアの家と神山復生病院で連携をとりながら、在宅医療を実施しています。マリア診療所を利用される患者さんも増えてきており、在宅でのお看取りの件数も今年度は18件(8月末現在)となりました。在宅での生活が困難な場合は、神山復生病院へ入院していただくことも可能です。今後も各施設間の連携、職員間のチームワーク、そして職員が楽しく働ける職場づくりを行い、更なる在宅医療の充実を目指し、地域医療に貢献していきたいと思っています。皆様これからもよろしくお願いいたします。

防災について



庶務 後藤和也

【防災研修】

今年度の防災研修は、御殿場市危機管理課の山口氏をお招きし、昨年に引き続き風水害に対する御殿場市の対応と、地域の取り組みについて説明していただきました。

今回の研修では山口氏のご説明の前に、職員から線状降水帯とゲリラ豪雨は何が違うのか？御殿場でも線状降水帯は起こり得るのか？という質問がありましたので、ゲリラ豪雨の発生メカニズムと御殿場で線状降水帯が発生する場合の降水域の流れについて、スライド画像や動画を交えてお話ししました。ゲリラ豪雨が発生している地域の画像や、黄瀬川とほぼ同じ幅、高さの川が増水していく動画は見たことが無い職員もいたようで、どよめきが起こっていました。風水害に対する御殿場市の対応については、令和元年 10 月の台風 19 号による被害内容を改めてお話しいただきました。

今後、当時よりも多くの雨が降った場合には、黄瀬川が下流を含めて氾濫するおそれがあるかもしれません。建物への浸水を想定した土嚢などの準備の他、増水した水が駐車場方面に流れるよう、土嚢の設置場所を考える必要性を感じました。黄瀬川に限らず、神山地区、富士岡地区には久保川と西川があります。大雨によって氾濫する危険性があるかもしれません。近くに川や沢がある皆さん、起こらないと考えるよりも大雨の時には早目の避難を考えるなど、慌てずに行動できるよう、地区の担当者の方に避難先や避難のタイミングを聞いてみてはいかがでしょうか



【防災訓練】

今年の防災訓練は、9 月 1 日（金）の防災の日に行いました。毎年行っている非常用電源の確保訓練や屋外炊き出し訓練、浄水装置の試運転に加え、今年は身の回りの防災用品に使用出来ない物はないか、足りていない物はないかの確認も行いました。防災用品の中でも、新しく導入した折りたたみヘルメットは一昔前の物に比べ 3.3cm と薄くなり、着用にはひと手間ありますが、被り易くなりました。

屋外炊き出し訓練は、栄養課が委託業者と共に行いました。今年は防災食の試食がありませんでしたが、設置からガスの使用方法、湯沸かし、片付けまでを一つひとつ確認しながら行いました。

今年は地震が少ないほうではありますが、いつ発生しても対応ができるようにしっかりと災害に備えていきたいと思います。



【消防訓練】

9 月初旬、今年度 2 回目となる、新規入職者への初期消火訓練を行いました。建物の特性や消火設備の説明に始まり、消火器の使用の確認、火災発見から初期消火、患者避難までを訓練しました。また、院内にある消防への通報装置には、不審者に侵入された時の使い方があることを伝え、同時に不審者への対応を行いました。病院の火災感知器は、定期的に点検を行っていますが、ご家庭の感知器は意外と点検がされていないこともあり、点検方法などの説明も行いました。

皆さんのご自宅にある消火器は期限切れになってはいませんか？感知器は正常に音が鳴りますか？いざという時に使えるように、点検を行ってみてはいかがでしょうか？





当院での医療安全活動

薬局 永井祐佳

9月17日は、WHOが定めた「世界患者安全の日」でした。

当院では、毎年11月25日を含む一週間を「医療安全推進週間」と定め、各部署が取り組んだ活動発表を行っています。

また、昨年度より御殿場市内にある富士病院さんと医療安全対策地域連携を実施しています。

8月31日に医療安全地域連携相互チェックとして、富士病院の医療安全管理者さんをはじめ複数の病院で医療安全に関わっている方が当院に來られ、様々な事項のチェックや院内ラウンドが実施されました。

ご指摘いただいたことは早急に改善し、お褒め頂けたことは今後も継続し、患者さんの為の医療安全に取り組んでいきます。この他にも、当院では医療安全窓口を設置し、患者さんやご家族からの医療安全に関する相談をお受けしております。

今後も皆さんと共に良い医療安全活動に取り組んでいきます。



ケアマネージャー在宅医療研修

訪看マリア 仲道由美子

8月30日31日の2日間、市内の事業所のケアマネージャーさんが実習に來られました。患者様の自宅に同行し訪問看護の実際を見学していただきました。

私たち訪問看護師にとって、ケアマネージャーさんとの関係はとても重要です。ケアプランの立案を行っていただき、患者さんのニーズに合わせてチームで支えていけるように、調整を行ってくれる要であると考えます。実際に来ていただいたケアマネージャーさんとも、お互いの立場での意見交換や実際の訪問看護の状況を見ていただくことで、課題や参考になる気づきも共有することができました。

顔の見える関係をつくり、地域包括ケアシステムの一端を担う立場でそれぞれの役割を果たして行けるよう連携強化につながる貴重な機会となりました。



今回のおすすめ

「ぼくたちに、もうモノは必要ない」

著者 佐々木典士



“ミニマリスト”という言葉が流行語大賞にノミネートされたのは2015年と、もう8年前になります。

持ちモノを自分の必要最小限にするという考え方は本当に必要なモノを大切にしたり、感謝できるという結果につながっているとこの本には書かれています。

私自身も気付かないうちについついモノが増えてしまいましたが、定期的に断捨離をし気持ちをスッキリさせています。あまりやりすぎると家族に怒られてしまいますが…。

「まずはゴミから捨てる」「いつか使うかもはやってこない」興味がある方は是非読んでみてください。

(紹介者) 訪看マリア 益木良平

外 来 担 当 表

緩和ケア外来は予約制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(中原)	内科(北村) 皮膚科 (加藤)	休 診	内科(江藤)	内科(江藤)	内科 (第 1. 3. 4 中尾) (第 2. 5 岡部) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (江藤・中原)	休 診	休 診	

インフルエンザ予防接種の予約を行っています。ご希望の方は受付まで。
10月より水曜日は休診となります。

皮膚科外来予定表

11月以降の診察は HP にてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。

太田有史 医師	10月 7日(土)
加藤芙未 医師	10月 3日(火)・10日(火)・17日(火)・24日(火)・31(火)
	10月14日(土)
太田真由美医師	10月21日(土)
福地 修 医師	10月28日(土)

～皮膚科診療曜日変更のお知らせ～

令和5年5月より、皮膚科外来の診療曜日が水曜日から火曜日へ変更となっています。
担当医師は【加藤芙未医師】です。みなさんぜひご利用下さい。

敷地内を通行する時のお願い

病院の敷地内を散策、通行される皆様へご協力をお願いします。病院の敷地内は、朝夕に職員の車両が多く走行します。職員も十分に注意を払っておりますが、交差点になっているところでは安全のため、一旦止まって左右の確認をお願いいたします。

特に修道院の周辺と、桧窪のバス停から天国橋を渡った交差点は見通しが悪いため、ご注意ください。



修道院付近



天国橋付近

編集後記

まだまだ暑さが厳しく、秋が遠くに感じます。
かえでの森が皆様に配られている頃には、少し秋めいて涼しくなっていればいいと思うばかりです。
季節の変わり目で、体調を崩しやすくなりますので気を付けていきましょう。

次号もお楽しみに！

